

# 第30回 SATOU フォーラム

会場は通常の新宿会場です。下記の地図参照

URL: <https://satou-forum.jp> (右QRコード)

あるいは「SATOU フォーラム」で検索してください。

(過去の講演内容の概容又は資料もご覧になれます)



### 記

日時：2023年3月7日(火) 16:00~19:00 (受付開始は15:50より)

会場：サテライト新宿南口駅前 (アットビジネスセンター 801号室)  
渋谷区代々木2-8-3 新宿GSビル8階

フォーラムの講演そして交流会も併せて、出欠票に記載の上、ご返送ください。  
(FAX 又は PDF にてメールで送付ください。)

- >15:50~16:00 受付
- >16:00~16:15 会員会社情報発信
- >16:15~18:00 [講演] (質疑応答時間含む)

## 「知っているとためになるかも！ 米国不動産の実践豆知識」

— "現役時代の業務(三井不動産にて米国不動産の調査担当)が面白くて、今では年金の足しになっちゃいました。" **米国不動産ウォッチャー**うん十年を自認する坪田先生の実践ノウハウ公開—

講師：坪田 清 先生 (ジャパン・トランスナショナル代表・グローバル不動産経済研究会 主宰)

>18:00~19:00 交流会 ビールと軽いつまみで情報交換タイム

[今後のSATOUフォーラムの予定]

第31回 2023年4月11日(火) 講師・演題未定



新宿駅南口徒歩1分

西新宿1丁目の交差点で甲州街道を横断

**【坪田 清先生 略歴】**

ジャパン・トランスナショナル代表

1972年 筑波大学附属駒場高等学校卒業

1976年 東京大学工学部都市工学科卒業

1976年 三井不動産(株)入社。首都圏建売、建売別荘、海外事業、ビルディング事業、大型子会社3社のIPOやM&Aを担当。

1993年以降、海外の不動産ビジネスの調査研究

また、三井業際研究所において各種委員を歴任。

2014年6月、ジャパン・トランスナショナルを起業

会員制の「グローバル不動産経済研究会」を主宰。

会員には世界最大手・2社、日本最大手・3社から個人企業まで幅広い。

著書：『三井不動産との邂逅』（2014年6月出版・自費出版）

『外資のプレイヤーと会う時に読む本』（2018年10月出版・文芸社）

『世界から日本の不動産を知る』（2020年1月出版・三井不動産リアルティ）

『世界の不動産会社群』（2021年7月出版。自費出版。「週刊住宅」連載から）

## 賃上げ・年金・定年制・終身雇用

前回のフォーラムでは、北井先生から数々の興味深いご指摘をいただいたが、なかでも目からウロコだったのは、米国では、年金は前年のインフレ率に完全にスライドするため、今年は昨年に比べ年金支給率は**8.7%上昇**する。わが国では、岸田首相が「物価高以上の賃上げ」をひたすらお願いしまくっているが、その効果はイマイチ疑問だ。

ちなみに小泉 **改悪** で、日本の年金支給率は、**インフレ率以下** とされている。

これが日米の賃金上昇圧力の違いをもたらしている要因の一つだというのだ。たしかに働いてもないジイちゃん等のもらう年金より、現役の労働者の「**オレがもらう賃金のほうが安かったら許せない**」と怒り、労働争議も熱を帯びやすいだらう。

はなしは変わるが、いま米国では、大手IT企業に大量の人員カットの嵐が吹き荒れている。グーグル 12,000 人、アマゾン・ドット・コム 18,000 人、メタ・プラットフォームズ（旧フェイスブック）11,000 人、マイクロソフト 10,000 人の解雇が発表されている。

米国金利の急上昇に加え、物価高・需要減による業績悪化だけでなく、次の成長分野（AI 市場）への展開のため原資の確保が背景といわれている。

簡単に「**首切り**」が**可能な社会**であれば、もらえるときにもらっておくことが、いかに重要なことか、労働者の要求の激しさ、厳しさを思い知る。

その意味で、日本の「**定年制・終身雇用**」が一般論として賃上げ上昇圧力をソフトな形にしていることは否めない。

しかし、最近労働移動（転職の自由）を阻害するということで見直しの対象とされつつあるのは、慎重な対応を要する。場合によっては、税務当局の悪ノリで退職金の優遇課税制度も見直しされかねない。

低成長産業から人手不足の成長産業への労働者の移動を促すという政策はヨシとしても、事柄の性格上**労働者自らの意思を最大限尊重する移動（転職）**であるべきだろう。間違っても、使用者側が、「転職の自由」を喧伝（けんでん）することではない。

わが国で 2022 年に「早期・希望退職」を募集した上場企業の 6 割は、黒字企業であった。不採算部門の見直し等を行う場合でも、即「首切り」でなく、「募集」にとどめるのが日本の現行の作法なのだ。

日本の社会の「**安全・安定性**」は、世界が認める日本の美点である。

殺人発生件数（人口 10 万人あたり、2020 年）で見れば、米国 6.52 人に対し、日本は 0.25 人。

また、わが国の労働者争議参加人員は、2010 年以降ほとんどゼロ。

「安全・安定性」を支えている柱を断ち切らぬようお願いしたい。

以上

（文責：佐藤）

## 第 30 回 SATOU フォーラム 参加申込書

下記に記載して、参加費をお振込みください。(申込書は FAX 又は PDF にてメールで送付ください)  
よろしくお願い申し上げます。

フォーラム参加費: 6,000円(税込)(交流会費 1,000円含む)

交流会参加       交流会不参加

お名前			
企業名			
部署名・役職			
電話番号		FAX 番号	
メールアドレス	@		

\*お忙しい中恐れ入りますが、**3月3日(金)頃まで**にご返信をお願いできればと存じます。

\*\*\*\*\*

### <事務局>

プラチナ出版株式会社  
〒104-0031 東京都中央区京橋 3-9-7  
京橋鈴木ビル 7F  
事務局: 今井 090-1701-7108  
[Tel: 03-3561-0200](tel:03-3561-0200) Fax: 03-6264-4644  
E-mail: [info@pulatinum-pub.co.jp](mailto:info@pulatinum-pub.co.jp)

振込先: 三菱 UFJ 銀行 虎ノ門中央支店 普通 5384697  
口座名義: 佐藤 一雄